

三鬼陽之助 おきのすけ 經濟評論家。明治四十年八月三日三重縣生乳、平成十四年十月五日歿（一九七二）。昭和六年法政大學法學部卒。大イヤミンド社入社、八年投資經濟社創設。次で ついで 『東洋經濟新報』編輯長・論說委員・理事等を経く、二十八年財界研究所を設立し、雑誌『財界』を創刊した。

著書『財界夜明け前』（昭和二十一年九月）『東曲出版社』、『財界新人物論』（昭和二十四年四月）『新榮出版社』、『兜町』（昭和二十八年六月）『中央書房』、『財界人夜話―登場人物の〇〇名』（昭和二十一年十月）『中央書房』、『東曲出版社』、『サンケイ新書』（『東曲出版社』）（合著・京都新聞編集局編、昭和二十一年十一月）『中央書房』、『河出新書』（『河出新書』）（昭和二十一年八月）『中央書房』、『政界金づる物語』（昭和二十四年五月）『中央書房』、『現代の労働者』（昭和四十一年二月）『中央書房』、『ホケツト文春』（『わが社の二十歳』（合著・扇谷正運編、昭和四十三年一月）『旺文社』、『社長お隣のなみだ』（昭和四十八年二月）『旺文社』、『旺文社新書』（『旺文社新書』）（昭和四十八年二月）『旺文社』）等。



現代の労働者 三鬼陽之助 著

東洋經濟新報論說委員 三鬼陽之助 著

# 財界新人物論

新榮出版社